

(別添資料1)

事業所名		練馬区立こども発達支援センター放課後デイサービス				支援プログラム		作成日		令和8	年	6	月	1	日
法人（事業所）理念															
支援方針		練馬区の中核センターとして、学齢期の児童にグループワークをとおしてコミュニケーション力、対人社会性の発達、スキルの向上を促し、子ども自身が自らの特性に気づき、その特性を活かして子本来の力を発揮し豊かな生活世界を育む支援をします。同時に保護者・ご家族がこどもを適切に理解し子どもの成長を支え・喜びあえる環境作りへの支援と保護者自身の自己実現をサポートしています。スプラウトは、インクルージョンを区、保護者・ご家族と連携し学校や地域の事業所等とともに地域全体のインクルージョンの推進とエンパワメントに取り組めます。													
営業時間			15 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	○なし				
本人支援	健康・生活	自分の身体、自分の気持ちを適切に表現したり、生活体験を発表し合うなどの練習をグループ活動で取り組んでいます。													
	運動・感覚	簡単な工作活動を楽しみながら手指の巧緻性や力の入れ具合、見本や図面との照合を考えるなどに取り組んでいます。													
	認知・行動	心理検査や行動観察なども参考に、認知、学習面の特徴や課題を把握するとともに分かりやすく本人の得て不得手を説明し、現在の課題を共有するようにしている。またセンターの医師による医療相談とも連携し情報を共有しプログラム作成や目標設定に役立てている													
	言語コミュニケーション	数人のグループ活動で、ゲームや物の貸し借り、テーマに沿った意見発表、言葉使い、話すタイミング、自分の気持ちと他児の気持ちの違いに気づいて折り合いをつけるなどを練習しています。言葉につまったり、うまく伝わらない時にヘルプサインをだせばまわりの指導員がヒントを出してくれたり、見本を示してくれることを学ぶとともに成功体験を重ね自信をつけること、自己肯定感を養うことに繋がっています。													
	人間関係社会性	ゲームをヒントにしたプログラムも好評です。ゲームや勝負は相手の動きを見ながら相手の意図を考え、作戦を考えることで楽しみながらも適切な対人関係のスキルを学んでいます。													
家族支援		毎回のプログラム終了時にその日の内容と次回の課題のねらいを伝え目標を共有しています。							移行支援		心理検査の結果や学校訪問時の情報などを活用し、グループ最終回には本人に対し得て不得手などを説明し進級や地域生活の広がりに対応できるよう支援しています				
地域支援・地域連携		インクルージョン推進を目的として学校訪問を行い、グループのねらいと個別の課題を説明するなど学校とも情報共有しそれぞれの場での支援に役立てています。							職員の質の向上		療育の前に活動のねらいや支援内容を共有し、療育後では保護者説明時の質疑内容とともに、子どもの反応、職員の関わり方の検討などを担当職員全員が共有しています				
主な行事等															